

海蔵地区都市マス委員会 部会活動報告書

部会名	三滝川分派・関連河川 整備検討部会	部会開催日時場所	平成28年3月30日(水)午後7時 海蔵地区市民センター 中会議室		
報告書 作成	①書記	②副部会長	③部会長	堀内 保	
報告書確認役員会	平成28年5月23日(月)開催			出席者	別紙のとおり

概要報告

三部会合同会議において、次の3点について、三滝新川の縮小模型及びコンピューター解析結果を県から説明を受けた後、質疑応答を行った。

1 三重県四日市土木事務所からの解析結果についての説明

(1) 分派・合流の形状の検討について

- ①三滝新川入口部に導流堤2基の設置が必要。
- ②野田川が三滝川と合流する箇所は現状(堀木橋直上流)のままで可。
- ③三滝川が超過洪水状況になったときに過度に海蔵川に流れ込まないように、越流堤の設置が必要。
- ④平常時は、三滝川の水が三滝新川に流れないようにするため三滝川と三滝新川に0.5mの段差をつける必要がある。
- ⑤分派に関わる三滝川および三滝新川の流路を掘り下げる必要がある。

(2) 超過洪水時への対応について

- ①計画流量の1.5倍にあたる2000年確率の降雨時の流量についても、分派機能が適性に発揮され、海蔵川と三滝川の安全は確保される。

(3) 支川への影響について

- ①分派機能が適性に発揮されることにより、野田川の排水機場の運転時間は現状より短くなる。
- ②同様に、海蔵川の阿倉川樋門の閉鎖時間は現状とほぼ変わらない。

2 質疑応答、意見交換

(質問) 三滝新川が計画どおり機能発揮された場合、海蔵川と三滝川が安全であるということは理解できるが、堀川に与える影響が不明であるがどうか?

(回答) 堀川への影響は、まだ十分に検討していないのが実情である。今後、県と市で協議を今後していきたい。

(質問) 超過洪水状況になった場合、分派率が下がっていくということは都合のいい結果と思われるが本当に分派率が下がるのか?

(回答) 超過洪水状況の際には、三滝川の川幅が広くなり、その状況で流下するために分派率が下がる。我々にとっては、非常にラッキーな数字が出たと思っている。

(質問・要望) 海蔵川・支川関係、三滝新川関係、三滝川関係の今後の整備の進め方が資料に記載されているが、平成28年度以降、県と市がどう連携して進めていくのか。それらと同時に堀川や野田川の影響調査を進めてほしい。また、今後、色々な対策工事が検討されると思われるが、窓口を決めて地元との対応にあたっていただきたい。

(回答) 今後、早急に県と市で協議を進めていきたい。

行政等担当者確認欄

担当者氏名	中島 菜穂	機関・所属部署役職	四日市 都市建設部 都市計画課 まちづくり支援グループ 主幹
-------	-------	-----------	-----------------------------------

海蔵地区都市マス委員会部会活動報告書を確認いたしました。

海蔵地区都市マス委員会部会活動報告書に対し、別紙のとおり通知します。

【部会名】三滝川分派・関連河川整備検討部会

1 三重県四日市土木建設事務所からの解析結果についての説明

(2) 超過洪水への対応について

①計画流量の1.5倍にあたる2000年確率の降雨時の流量についても、分派機能が適性正に発揮され、海蔵川と三滝川の安全は治水バランスは確保される。

(3) 支川への影響について

①分派機能が適性正に発揮され三滝川の負担が減ることにより、野田川排水機場の運転時間は現状より短くなる。

②同様に現況と将来計画完成後とを比較した場合においては、海蔵川の阿倉川樋門の閉鎖時間は現状とほぼ変わらないが、あくまでも色々な想定の中の1つのケースに過ぎず、今後、より具体的な検討が必要である。

2 質疑応答、意見交換

(質問) 超過洪水状態になった場合、分派率が下がっていくということは都合のいい結果と思われるが本当に分派率が下がるのか？

(回答) 超過洪水状況の際には、水位が上がることで公園利用されている右岸の高水敷も川になり、結果として三滝川の川幅が広くなり、その状況で流下するために分派率が下がる。
~~我々にとっては、非常にラッキーな数字が出たと思っている。~~